

# 豊受大神宮

外宮

とよけだいじんぐう (げくう)

あまてらすおおみかみ とよけのおおみかみ  
天照大神のお食事を司る神の豊受大神をおまつりしています。  
内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。



**▶ 御饌殿 みけでん**  
毎日朝夕の2度、天照大神・豊受大神を始めとする神々をお祭りするための御殿。お供える神饌(しんせん)は、毎朝おこした清浄な火「忌火(いみび)」を使用して忌火屋敷で調理される。

**▶ 正宮 しょうぐう**  
正殿を中心とする社殿は内宮とほぼ同じ様式ですが、榿木は9本で千木は垂直に切られています。また、社殿の配置が異なります。

**▶ 土宮 つちのみや**  
大土乃御祖神(おおつちのみおやのかみ)をまつる別宮(べつぐう)です。古くから山田原(やまだのはら)の鎮守(ちんじゆ)の神としてまつられ、外宮創建後は宮城(きゅういき)の地主の神としておまつりされています。

**▶ 神楽殿 かぐらでん**  
ご祈禱(きとう)のお神楽(かぐら)や御饌(みけ)を行う御殿です。お札やお守りも授与しています。鎌倉時代風の屋根が美しい建物です。

**▶ 風宮 かぜのみや**  
風の神をおまつりする別宮(べつぐう)です。鎌倉時代の元寇(げんこう)の時、神風(かみかぜ)を吹かせて日本をお守りになった神として知られています。

**▶ 多賀宮 たかのみや**  
豊受大神(とよけのおおみかみ)の荒御魂(あらかみたま)をおまつりする別宮(べつぐう)です。山の頂きにあるため古くから高宮(たかのみや)と呼ばれていました。

**▶ 手水舎 てみずしゃ**  
参拝前に心身を清めます。手水(てみず)の作法は、左手・右手の順で手を清め、左手に水をすくい口をすすぎ、最後に左手を洗い流しましょう。柄杓(ひしゃく)に直接口をつけないのが礼儀です。

**せんぐう館 せんぐうかん**  
式年遷宮の資料館です。外宮正殿の模型・神宝の調製工程・遷宮祭の様態などが展示されています。シアター・検索コーナーなども充実しており、神宮や神道について深く知ることができます。休憩所から望むがたま池の景観も美しく、舞台では観舞会などの行事が催されます。

◆ せんぐう館 利用案内 ◆  
開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)  
休館日：毎月第4火曜日(祝日の場合は翌日)  
照会先：☎ 0596-22-6263

## 神宮 -お伊勢まわりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。



**神宮司庁 広報室**  
〒516-0023 伊勢市宇治町1 ☎ 0596(24)1111(代)  
<http://www.isejingu.or.jp/>